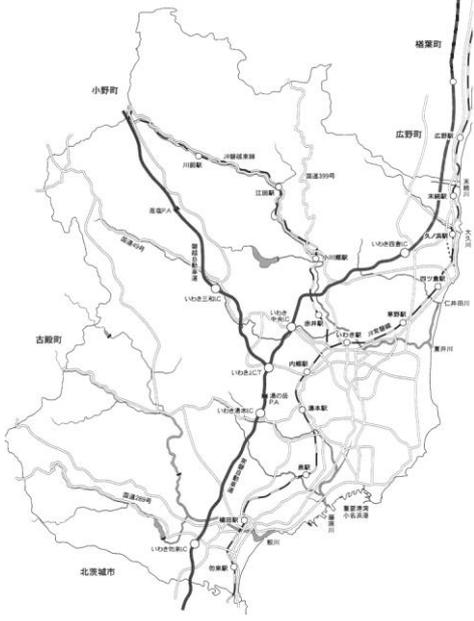


○地元プログラム提案調書

交流型提案

提 案 名	C-1 教育を通じた子どもたちとの交流		○位置図 ：実施場所 
テ ー マ	④ 人的交流		
対 象	首脳夫妻又は配偶者のみ		
実 施 場 所	市内小・中学校		
会場からの移動手段	車		
会場からの所要時間			
提 案 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ●小中学校における学習以外の学校生活に焦点を当て、児童生徒による給食の準備や後片付け、教室等の清掃などを見ていただき、子どもたちと一緒に給食を食べ、子どもたちと一緒に教室の清掃を行うことで、自分の身の回りのことは自分で行うことの習慣づけや環境に配慮する心を育む日本の教育現場を体験してもらう。 ●子どもたちと一緒に自ら体を動かして食事や清掃をすることにより、島嶼国で課題の1つとなっている環境問題に対する意識の醸成はもちろんのこと、島嶼国における教育現場でのアイデア提起（島嶼国でも学校のカリキュラムに掃除の時間を導入するなど）の一助とする。 		
期待できる効果	島 嶼 国	清掃や整理整頓の大切さを訴えることにより、常日頃から地域の環境に配慮する意識の醸成を図る。 また、自ら体を動かすことが肥満対策に繋がること、身の回りを整えることが心地よさにも寄与することを理解いただく。	
	被 災 地	常日頃当たり前のように行っている清掃を各国関係者に示すことで、学校や地域への帰属意識を高めるとともに、子どもたちが各国関係者と触れ合いを通し、国際理解の更なる促進を図ることができる。	
備 考	●子どもたちをはじめ、市民が最大限関わられるよう関係機関・団体と調整を図る。		



校内清掃の様子



いわき市の約9割の小学校でひぎ当てを採用



ミクロネシア連邦議会議長による藤原小学校訪問の様子（平成 28 年3月）

